

コマツナ

栽培のポイント

① 元肥は早めに施す

生育期間が、春・秋まきは40～45日、夏まきは20～30日、冬まきは80～90日と、ほぼ周年で栽培が可能です。栽培期間が比較的短いので、元肥を早めに施し、発芽後すぐに養分を吸収できるようにしておきましょう。

② 品種を選びましょう

連作障害が出にくく、ほぼ一年中種まきができます。まく時期に合った品種を選び、特に春は、とう立ちの遅い品種が望まれます。また、1回の作付けで多く作りすぎず、時期をずらして計画的に栽培しましょう。

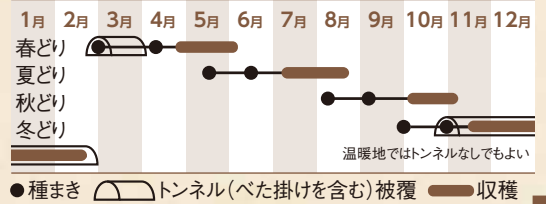
③ 間引きを忘れずに

生育の遅いものや葉の形が悪いものを抜き取り、最終間隔が5～6cmになるように間引きましょう。間引いた株は、間引き菜として活用しましょう。



品種
・春のセンバツ
・菜菜音

栽培カレンダー



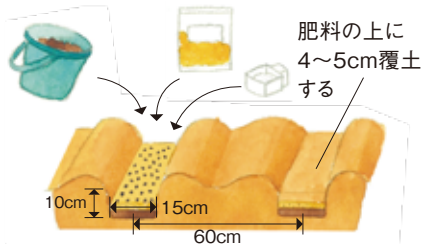
1 畑の準備

畑全体に石灰と完熟堆肥をばらまいて、15～20cmの深さによく耕しておく



2 元肥入れ

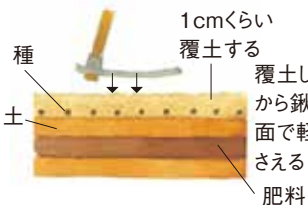
〈溝の長さ1mあたり〉
堆肥:3～4握り
油粕:大さじ5杯
化成肥料:大さじ3杯



3 種まき

溝まきの場合

鍬を前後に動かして底面を平らにする。溝全面にわたるよう、ていねいに種まきする



ベッドまきの場合

元肥はベッド全面に耕し込んでおき、やや中高になるようていねいにします



4 間引き

本葉1～2枚のころ3～4cm間隔に、草丈7～8cmのころ5～6cm間隔に間引く。間引いた小さい株も間引き菜として有効に利用する

5 追肥・中耕

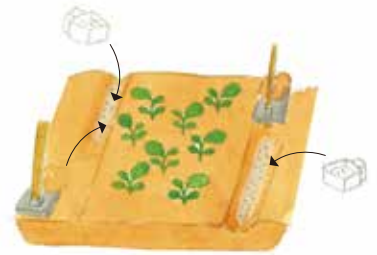
第1回

〈列の長さ1mあたり〉
化成肥料:大さじ1杯

第2回

量は1回目と同じ

1～2回とも間引きした後、列の側方に軽く溝を掘り、肥料を施す。その後、鍬で土をやわらげ、中耕しながら土寄せする



6 防寒

トンネル

日中30℃以上にならないよう換気する

フィルムに直径5cmくらいの穴をあける

フィルムを頂部で合わせるようにしておき、日中開く

裾には土をかけて風に飛ばされないように

べた掛け

風で飛ばされないように留めておく

べた掛け資材
長繊維・割繊維
不織布など

7 収穫

抜き取り収穫

草丈20cm前後になったら抜き取り収穫する



かき取り収穫

サラダ用など少量でよければ、下葉からかき取り収穫すれば、長い間楽しめる



キリトリ線に沿ってお切りください